

平成24年度「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰」で受賞  
NPO法人「アンガージュマンよこすか」  
不登校や引きこもりの子ども、若者を支援

横須賀中央駅にほど近い上町の商店街の一角に見える看板「はるかぜ書店」。同所を拠点とする「アンガージュマンよこすか」は、不登校の児童・生徒や引きこもりの若者たちを支援するNPO法人。居場所（フリースペース）提供事業や学習・就労支援などを



ゆるやかな雰囲気のはるかぜ書店。一角にはカフェスペースもある



授賞式にて。理事長の島田さんと事務局長の石井利衣子さん

2003年から始め、昨年11月には、「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰」で内閣府特命担当大臣表彰を受賞した。これは、「子ども・若者を育成支援する活動に取り組む顕著な功績があった」団体らに贈られたもの。首相官邸で行われた授賞式に出席した理事長、島田徳隆さんは「首相官邸を初めて訪れ、身が引き締まる思いがした」と振り返る。受賞は、社会になじめない若者の自立支援を継続してきたことへの評価と言えらるだろう。

「アンガージュマンは、自分らしい生き方を手に入れる場所」と、島田さん。はるかぜ書店の運営には就労研修生らが携わり、また商店街との連携など地域に密着した活動も特長だ。活動を支援するボランティアも少なくない。表彰を機に、活動への評価と支援の輪の広がりに期待したい。